Japanese Society of Computer Aided Dentistry
JSCAD

The CIRCLE of CAD/CAM Dentistry

一般社団法人　日本臨床歯科CADCAM学会　第11回学術大会

2025年12月6日（土）7日（日）パシフィコ横浜会議センター4・5階

今回 の見どころ

■演題： Novel materials and applications in daily digital dentistry
— 日常臨床におけるデジタル応用とモノリシック修復—

■内容： デジタル技術が歯科を大きく変えた21世紀。口腔内スキャナー、CAD/CAM、3Dプリンティングの発展により、今や多くの治療が完全デジタルワークフローで行える時代になりました。**トルコを拠点に国際的に活躍するアリ・ムラット・コカット教授**は、こうした変革の最前線に立つ一人です。
Hacettepe大学卒業後、ドイツ・ボン大学などで研鑽を積み、現在はイスタンブール・アイドゥン大学大学院の補綴学博士課程責任者として教育と臨床の両面で活躍中。
本講演では、**モノリシック修復材料の進化と臨床応用**を中心に、コスト効率・再現性・耐久性を高める**最新デジタル戦略を紹介**します。デジタルとマテリアルが融合する次世代の補綴臨床。**そのリアルな知見を世界的第一人者から直接学べる貴重な機会です。**

■日時： **12月7日（日） 13:00～14:30**

■会場： **503（英語と日本語字幕による講演）**

参加登録はこちら

講演者プロフィール

Prof. Dr. Ali Murat Kokat
アリ・ムラット・コカット教授

ご略歴

1998年　ハジェテペ大学歯学部　卒業（トルコ・アンカラ）
2004年　同大学大学院　修了（補綴学博士号　取得）
2004年　イェディテペ大学（イスタンブール）　講師
2008～2009年
　ドイツ・ボン大学（ライン・フリードリヒ・ヴィルヘルム大学）
　ITIスカラー（口腔・歯科・顎顔面疾患・外科学講座）
2012年　准教授
2018年　オカン大学歯学部　補綴学講座　教授

現在　イスタンブール・アイドゥン大学補綴学博士課程コーディネーター
　および自身のプライベートクリニックにて臨床を行う

ITIフェロー（International Team for Implantology）
ITIトルコ支部元代表、教育担当責任者、広報責任者
ITIボード・オブ・メンターズ　メンバー